



10

2024 OCT
No.777

令和6年10月10日発行
(毎月1回10日発行)

Information

インフォメーションたかまつ

高松商工会議所 会報

TOPIC

「企業は一日にして成らず」

創業100周年

多田文房堂

「経営お役立ち情報」

WEBマーケティング

TAKAMATSU



企業は一日にして成らず

すべての軌は未来に通ず



代表取締役
多田 宗弘 さん

さらなる百年を見据え
オフィスの理想を形にする

創業100周年

株式会社多田文房堂

〒761-0302
高松市上林町501-1
TEL 087-887-0377
FAX 087-887-0378



ホームページ

文房具の世界を飛び出し、時代の中で求められているオフィス空間のあり方を追求してきた多田文房堂。「元氣」を信念に、新たな挑戦を加速してきた6代目多田社長に、1世紀にわたる歩みと展望する未来像をお聞きました。

事業内容について教えてください。

「文房堂」という社名から文具の販売というイメージをよく持たれますが、領域はもつと広く、オフィス空間をより良くしましょう、というのがコア業務です。具体的には、事務用品や事務書類、福祉施設用品、オフィス家具では新品とリサイクル品の両方を扱い、民間企業や病院、福祉施設、学校、官公庁まで幅広いお客さま先に日々ご提案しています。

今年に入ってから、防災関係のお問い合わせも多くいただいていますね。地震や風雨災害に備え、備蓄品の収納、取り出し

創業から現在までのあゆみについて教えてください。

1924(大正13)年に私の曾祖父である多田伊三郎が高松市築地町にて文房具店を開業したと言われてきましたが、叔祖父の話によると自宅があった松島町で商売を始め、すぐに築地町に移転したのではないかとのことです。その後、1952(昭和27)年に私の祖父である恵勇が有限会社多田文房堂を設立しました。株式会社組織変更したのは父・金市が代表となった2001(平成13)年ですが、その頃文具の世界も通

経営者として大切にしていることや信条を教えてください。

営業としてがんばっていた母が大切にしていたのが「元氣」。女性の営業が珍しい時代、大変なこともあったと思いますが、悪いことが起きたからと落ち込まず、元気で働くというマインドを持っていると、物事は好転するというのが持論でした。そんな母の背中を見て育ったので、私も「元氣」であることを大切にしています。

今後のビジョンについて教えてください。

大きい夢で言うと、無重力の宇宙で働くオフィス空間も創造していきたい。実はさほど遠い未来の話ではないと思っています。そのためには、新しい情報に常にアンテナを張り、ビジョンは口に出すと決めています。

足元でいうと、企業のセキュリティ対策に注力しています。商工会議所さんから勧められ、営業職全員がITパスポートの資格を取得。確かな知識を持ってご提案できるようにになり、成果を感じています。本格的なDXの導入には莫大な費用がかかりますが、限られた予算の中でDXに近づけ、セキュリティも保ちつつ、今後、コストダウンが起これば、すぐにシフトしていけるというシステムをお客さまと共に考えていきたいですね。

多田社長のモーニングルーティーン

朝の時間割

- 7:00 起床
前夜録画したニュースや経済番組などをコーヒーを飲みながらチェック
シャワーを浴びる
- 8:30 出社
- 8:50 朝礼・朝インプットした情報をすぐにアウトプット

よく飲むもの

朝はたいていブラックコーヒー。

こだわり

結婚して15年経ちますが、毎日かかさず妻への感謝を伝えています。

- ①新しいロゴを掲げた現在の社屋。
- ②社員が実際に仕事をしている現場を見ていただくことで、お客さまに自社のオフィスや働き方をイメージしてもらうことができるライブオフィス。
- ③初代多田伊三郎氏がオープンした築地町の店舗。「多田文房堂」の名が入った社用バイクも並んでいます。

